

令和 3 年 2 月 1 5 日

本庄市長 吉 田 信 解 様

本庄市介護保険運営協議会
会 長 高 橋 公 男

答 申 書 (案)

我が国では、総人口が減少に転じる中、高齢者数の増加とともに高齢化が進み、本市においても、今後はとりわけ後期高齢者の増加傾向が顕著となり、2040年までは高齢化率が上昇することが予想されます。このような状況のもと、団塊の世代が75歳以上となる2025年、団塊ジュニア世代が65歳以上となり現役世代が急減する2040年に備える必要があります。

本庄市介護保険運営協議会は、令和3年度から令和5年度を計画期間とする第9次高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画について2025年、2040年を見据えて策定にあたりました。高齢者福祉及び介護保険事業の安定的な運営など様々な課題に対応していくため、医療・介護・予防・住まい・生活支援の5つのサービスを一体的に提供する地域包括ケアシステムの更なる深化と一人ひとりが生きがいや役割をもち助け合いながら暮らして行くことのできる地域共生社会の実現を目指し検討を重ねてきました。

本市における高齢者を取り巻く状況をもとに、令和3年4月以降実施される介護保険制度の改正等を踏まえて、第7期介護保険事業計画期間における介護保険サービスの利用実績や保険給付等の推移にアンケート調査等の結果を加味しつつ慎重に審議を行ってきました。ここに第9次高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画案を別紙のとおり答申します。